会議議事録

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 令和元年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」Ⅰ．教職員の資質能力向上の推進　（ⅱ）教職員研修プログラムの構築事業 |
| 代表校 | 一般社団法人全国専門学校教育研究会 |

|  |  |
| --- | --- |
| 会議名 | 第6回ICT活用研修WG |
| 開催日時 | 令和2年1月22日（金）　14：00〜16：00 |
| 場所 | 東京ガーデンパレス　橘東京都文京区湯島1-7-5 |
| 出席者 | 委員：山根大助（学校法人京都中央学院）、岡村慎一（学校法人YIC学院）、岩切直子（学校法人麻生塾）、冨田伸一郎（株式会社ウチダ人材開発センタ）、猪俣昇（株式会社ウイネット）、加藤猛（学校法人穴吹学園）請負業者：飯塚正成（有限会社ザ・ライスマウンド） |
| 議題等 | 今年度の事業総括について１）アウトプットの確認について　これまでの研修内容をもとに提出する原稿を確認し、アウトプットのイメージを次のように確認した。　・ICT活用研修および「ICT活用研修」担当教員育成研修のそれぞれで、2冊の冊子と動画教材を収納したDVDとして納品すること。　・実際の活用の利便性を考慮し、インターネット上からダウンロードできるよう保管することを確認した。　レイアウトの詳細について委員から提案がなされ次のとおり承認された。　・冊子として印刷する場合には、投影教材の文字の可読性を考慮したレイアウト（倍率）を採用すること。・保管用の印刷物についてはコストと効果とのバランスを考慮し制作すること。※運用の際にはダウンロードして使用する場面が多いであろうから、印刷物については色数にこだわらないこと。・奥付の内容などを確認した。　・最終提出までのスケジュールと役割分担を確認した。２）成果報告会について　課題の整理を行い、次の意見が出された　成果について　・研修受講者の実践のなかで学生の成長がみられたとの報告があった　・より上位の資格に合格した学生の多くが動画教材を活用していた　・学生の学びの姿勢に変化が見られた　など　課題について　・受講後の動画作成へのモチベーションの維持（継続）　・インストラクショナルデザインの理解　成果報告会で発表する内容と役割分担を次のように確認した。　・3年間の総括であること　※初年度の活動内容については事業推進委員会と調整　・具体的な開発内容について　・研修の結果　・ICT活用研修WGの振り返り　・今後の活動に関する提言　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |

以上